

各 位

株式会社 エスライン

## 取締役会評価分析（取締役会の実効性評価結果）の 自己評価の実施と今後の対応について

当社は、取締役会の実効性と透明性を高め、企業価値を向上させることを目的として、取締役会評価分析（取締役会の実効性評価結果）を自己評価形式（記名式）で実施し、評価結果をもとに今後の対応について検討いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 評価の方法について

次の項目について、取締役及び監査等委員に、記名式アンケートを実施しました。

＜アンケートの項目＞

- ①取締役会の構成
- ②取締役会の役割
- ③取締役会の運営
- ④その他（コーポレートガバナンス・コード対応）
- ⑤総評

### 2. 評価の結果

当社取締役会は、規模・構成については適切であり、経営上の重要な意思決定及び業務執行の監督を適正に行うための体制が確保されていること、また、独立社外取締役を含め自由活発な議論が行われていることを確認いたしました。

よって、取締役会の実効性は概ね確保されていると評価いたしました。

しかしながら、当社を取り巻く経営環境は、企業間の貨物輸送物量の回復が見られず、燃料費の高騰や慢性的なドライバー不足、さらには2024年4月の自動車運転業務における時間外労働時間の上限規制（2024年問題）等、大変厳しい状況下にあり、取締役会が果たすべき役割や責務はますます大きくなっています。

そこで当社取締役会は、厳しい状況下にあっても、グループ経営のさらなる推進・強化を図り、グループ全社員が同じビジョン、同じ目標に向かって経営を進めていくことができるよう、取締役会が果たしていくべき役割を再認識し、取締役会の実効性の向上に向け、取り組んでまいりました。

### 3. 今後の対応

前記の分析及び評価により認識された課題に対して、今後、以下にて取り組んでまいります。

2022年度より新たにスタートした中期経営計画の達成に向け、取締役会はグループ各社に対し、中期経営計画で定める基本方針、主要課題、推進計画を確実に実行するための体制作りと環境整備を行ってまいります。

また、中期経営計画の進捗度合について、計画に沿って各施策が実行されているか、数値目標に対する達成状況はどうか等について定期的にレビューを実施し、都度的確な対策を立案して実行に移し、グループ各社の経営に反映させていくことによって、実効性の高い取締役会の実現を目指してまいります。

以 上